



注目ポイント

- ✓先週、米国では予想通りFRBが利下げ再開を決定し、年内あと2回の利下げ見通しを公表した。これを受けて、米株は堅調を維持し主要株価指数が連日のように最高値を更新。他方、日本では政策金利据え置きを決定した日銀が、想定外に保有するETF等の処分方針を決定。それが市場ではサプライズとなり、米株同様に堅調であった日本株の上値を抑えることに。また、一部委員が利上げを主張していたことが、追加利上げ観測を後押しし、国内金利は上昇気味に。
- ✓今週の日本株は、高値圏でもみ合いが見込まれる。日銀のETF売却方針の決定は、売却量も市場規模比では少額でインパクトは軽微であるとの評価だが、足元の最高値圏では利益確定の材料となる可能性も。一方で、買い遅れている投資家の押し目買い意欲も強く、下値は限定的だろう。
- (門倉英司)

2025年9月15日 ~ 2025年9月19日

市場・指標			9月15日 ~ 9月19日		9月19日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	日本	日経平均 (円)	45,853	44,495	45,046	+278	+0.6%	
	米国	NYダウ (ドル)	46,396	45,667	46,315	+481	+1.0%	
	ドイツ	DAX (ポイント)	23,855	23,285	23,639	-59	-0.2%	

市場・指標			9月15日 ~ 9月19日		9月19日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利 (国債)	日本	10年 (%)	1.640	1.585	1.635	+0.045	
	米国	10年 (%)	4.14	3.99	4.13	+0.06	
	ドイツ	10年 (%)	2.75	2.67	2.75	+0.03	

市場・指標			9月15日 ~ 9月19日		9月19日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	米ドル (円)		148.28	145.49	147.95	+0.27	
	ユーロ (円)		174.50	172.90	173.81	+0.54	
	豪ドル (円)		98.39	97.25	97.55	-0.65	

市場・指標			9月15日 ~ 9月19日		9月19日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	日本	東証リート (ポイント)	1,952	1,917	1,932	-6	-0.3%	
	米国	NY原油 (ドル)	64.76	62.52	62.68	-0.0	-0.0%	
		NY金 (ドル)	3,744	3,661	3,706	+19	+0.5%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。 休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2025年9月22日 ~ 2025年9月26日



株式

高値圏でもみ合いか

日経平均
【予想レンジ】 44,200 円 ~ 46,000 円

- 先週の日経平均は小幅上昇。米国のハイテク株高や海外投資家による先物買いを背景に、週を通して高値圏で推移した。週央にFRBの利下げ決定を受け、米株と共に一段高となったが、週末の日銀決定会合で、ETFの売却方針が決定されたことがサプライズとなり急落。今月に入ってから急上昇に対する警戒もあり乱高下する展開に。
- 今週の日経平均は底堅い展開か。日銀のETF売却方針の決定は想定外であったものの、売却量も市場規模比では少額でインパクトは軽微であるとの評価。ただし足元の最高値圏では利益確定の材料になる可能性も。また、直近の日経平均を牽引したソフトバンクG等が下げに転じると、指数の下落幅が大きくなるリスクも。一方で、買い遅れている投資家の押し目買い意欲も強く、下値は限定的だろう。

金利
(国債)

強含み(上昇)か

10年国債利回り
【予想レンジ】 1.620 % ~ 1.690 %

- 先週の国内金利は上昇。日米中銀の決定会合を控えて慎重姿勢が強く小動きでスタートし、週央の20年国債入札も無難に消化したが、FOMC後に材料出尽くしから米長期金利が上昇に転じると、国内債も売りが優勢に。週末の日銀決定会合では、一部委員が利上げを主張し、追加利上げ観測が台頭。金利上昇を後押しする展開となった。
- 今週の国内金利は、強含み(上昇)か。先週末に再燃した日銀の追加利上げ観測が、国内金利の押し上げ材料に。また、本格化する自民党総裁選で、積極財政派と見られる高市候補が優勢と伝われば、長期金利の上昇を加速させる可能性も。米長期金利が材料出尽くしから上昇傾向にあることも、国内金利の上昇要因に。指標としては、利上げ観測を占う上で、26日の都区部CPI(9月)に注目したい。

為替
(米ドル)

ドル強含みのもみ合いか

米ドル/円
【予想レンジ】 146.50 円 ~ 150.00 円

- 先週のドル円は、小幅に円安ドル高が進展。週央のFOMCでは、利下げ再開(▲0.25%)と合わせ、年内あと2回(▲0.50%)の利下げ見通しが公表され、一時1ドル=145円台半ばまで円高が進む場面もあった。また、週末の日銀決定会合では、政策金利の据え置きが決定されたものの、一部委員が利上げを主張したことが円買い材料に。ただ、週を通して株高を背景としたリスク選好のドル買い意欲が強かった。
- 今週のドル円は、ドル強含みのもみ合いか。米国の経済指標(中古住宅販売件数、新築住宅販売件数等)が、FRBの利下げ期待を左右する可能性があるものの、利下げ期待が一段と高まる可能性は低い。また、日銀の利上げ観測が燃えるものの、自民党総裁選を控え、政治的な不透明感を鑑みると、積極的な円買いに傾きにくいだろう。

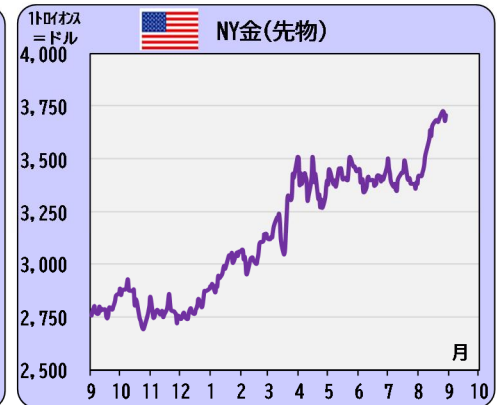
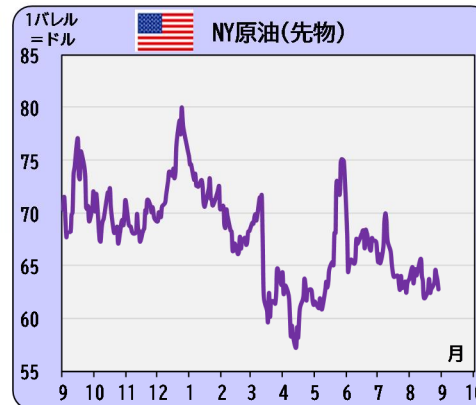
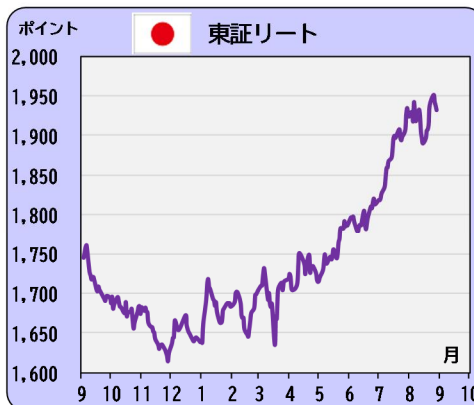
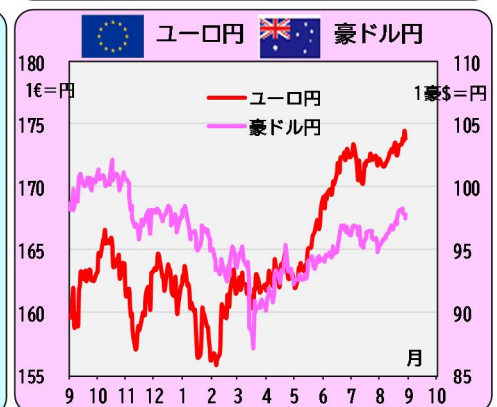
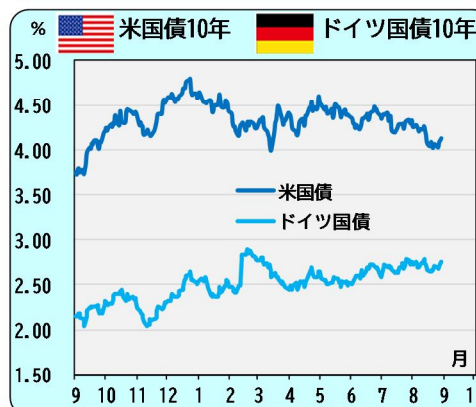
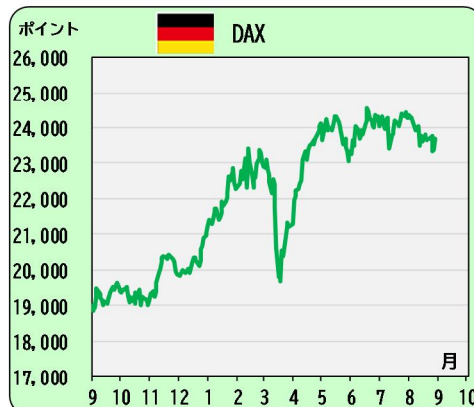
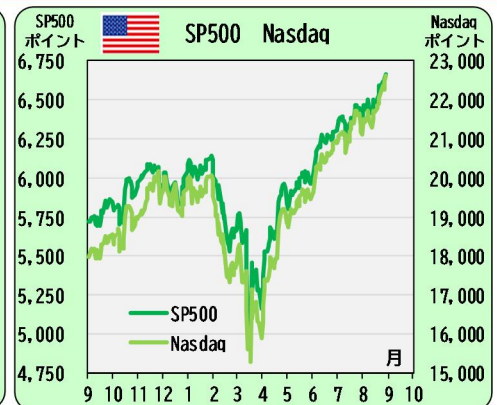
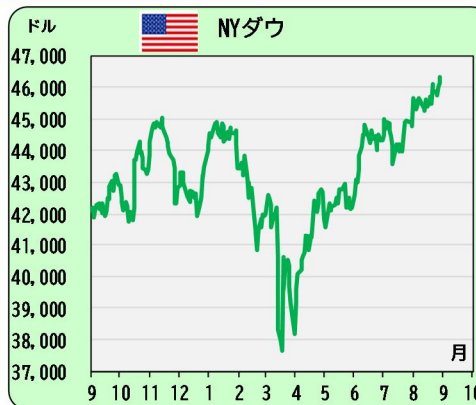


○今週の注指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

月日	国内	海外
9/22(月)	自民党総裁選挙告示(10月4日投開票)	
9/23(火)	祝日(秋分の日)	米国: 国債入札(2年) 米国: 中古住宅販売件数(8月) 米国: 経常収支(4~6月)
9/24(水)		米国: 国債入札(5年) 米国: 新築住宅販売件数(8月)
9/25(木)	日銀金融政策決定会合議事要旨(7月開催分) 国債入札(40年)	米国: 国債入札(7年) 米国: GDP(4~6月)確定値
9/26(金)	CPI(東京都都区部9月)	米国: 個人所得・個人消費支出(8月) 米国: ミシガン大学消費者態度指数(9月)確報値

③その他チャート集

直近1年間



※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
AI	人工知能	FRB	米連邦準備理事会	PCE	個人消費支出
CTA	商品投資顧問	FTA	自由貿易協定	PER	株価収益率
CTFC	米商品先物取引委員会	GDP	国内総生産	PMI	購買担当者景気指数
CPI	消費者物価指数	IMF	国際通貨基金	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
ECB	欧州中央銀行	IEA	国際エネルギー機関	SQ	特別清算指数
ETF	上場投資信託	ISM	米供給管理協会	TPP	環太平洋経済連携協定
EU	欧州連合	OECD	経済協力開発機構	WSTS	世界半導体市場統計
FDI	海外直接投資	OPEC	石油輸出国機構	WTI	ウエストテキサスインターミディエート(原油)
FF	フェデラルファンド	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み		
FOMC	米公開市場委員会	PBR	株価純資産倍率		

●ご留意事項

- 本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客さまご自身でなさるようお願いいたします。
- 本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いいたします。